

会社情報

顧客: 株式会社カクダイ
 業種: 水道用品の製造・販売・輸出入
 本社: 大阪市西区立売堀1丁目4番
 4号
 従業員数: 436名
 (2018年4月現在)

課題

- インターネットへの通信はデータセンターのプロキシサーバーとゲートウェイ型セキュリティ製品を経由して行われていたが、トラフィックが増大し、インターネット接続回線を圧迫する課題があった。
- 各拠点からのインターネットアクセスを安全に行い、通信の高速化と耐障害性を向上する必要がある。
- 加えて、ゲートウェイのアンチウイルスをすり抜けるメールがあり、未知のマルウェアからの保護を強化したかった。

ソリューション

- Symantec Web Security Service (WSS)
- Symantec Email Security Service (ESS)

導入効果

- インターネットアクセスのセキュリティを強化し、各拠点からのインターネットアクセスは劇的に改善された(WSS)。
- インターネット接続回線や通信機器を冗長化する必要がなくなり、導入にかかるコストを削減できた(WSS)。
- 期待以上のマルウェア検知率で、マルウェアメールのすり抜けがなくなり、エンドポイントからのアラートが減少した(ESS)。



株式会社カクダイ

インターネット接続を各拠点からも高速・安全に行う
 セキュリティ基盤として「WSS」「ESS」を採用



「水と住まいの接点にある製品を追求し、生活の質の向上に貢献する」というモットーのもと、蛇口や水受け、給排水の配管に関する部材の製造・販売などを手がける株式会社カクダイ。今後、クラウドの利用拡大などに伴いさらに増大するインターネットトラフィックを見据え、ネットワークの安全性確保と耐障害性を高めることが急務だった。そこで採用されたのが、「Symantec Web Security Service」(WSS)と「Symantec Email Security Service」(ESS)だった。

インターネットトラフィックの集中とネットワーク構成の複雑化が課題

水栓器具の専門メーカーである株式会社カクダイは、データセンターや本社のほか、国内5支店、27営業所、4配送センター、2工場をはじめ、日本と世界を結ぶグローバルなネットワークを展開している。これらの拠点からインターネットへの通信は、データセンターのプロキシサーバーとゲートウェイ型セキュリティ製品を経由して行われていた。

情報システム課 課長として社内を導入すべきITシステムやテクノロジーに関する調査や技術評価を行う福島氏は、インターネットアクセスを1カ所に集約する狙いについて、「ネットワークセキュリティを強化し、また、運用管理のしやすさという観点から採用された構成だった」と説明する。

しかし、業務におけるクラウドサービスの利用などが拡大するにつれ、プロキシサーバーやファイアウォールなどがネットワークのボトルネックとなってしまう問題が起きるようになった。

「万が一データセンターの機器に障害があると、全国の拠点でインターネットが使えなくなってしまいます。また、Windowsアップデートなどによりインターネットトラフィックが集中してしまうことで、インターネットアクセスのレスポンスも遅くなってしまい、業務に支障が出る状態でした」(福島氏)。

そこで、各拠点からのインターネットアクセスを、データセンターを経由せずに直接行う構成が検討された。福島氏によれば、「通信の高速化」と「耐障害性の向上」を、従来の構成で実現していくことは難しかったそうだ。

上述したようなクラウド利用の拡大や、Windowsアップデートをはじめとする回線を圧迫するような定期アップデート対策、そして標的型攻撃をはじめとする、未知のマルウェアを用いたサイバー攻撃などに対処する新たなインフラ基盤の整備が求められていた。

データセンターを経由しない構成に必要な「グローバルIPの開示」が選定の決め手

各拠点からインターネットブレイクアウト(ローカルブレイクアウト)を実現するためのソリューションの選定は2017年末くらいから開始された。

ソリューションに求められる要件は、「インターネットトラフィックの分散」「ネットワーク構成のシンプル化と耐障害性の両立」を実現することだ。さらに、未知のマルウェアからの保護を強化する必要もあった。

そこで検討の俎上にのぼったのが、ユーザーやデバイス、アプリなどのリスクに応じて適切なポリシー制御を行うためのプラットフォーム「Symantec Web Security Service」(WSS)と、クラウド型メールセキュリティソリューション「Symantec Email Security Service」(ESS)だ。

導入の決め手となったポイントについて、福島氏は、「WSSのグローバルIPが公開されている点」「メール経由のマルウェア拡散からの保護」を挙げる。

「クラウド型セキュリティ製品として、WSSは安全なWebアクセスの提供を、ESSはメールによるマルウェアからの保護を担うわけですが、各拠点のルーターからインターネット通信を行う際に、許可されたIPアドレスとしか通信できないよう制御したかったのです」(福島氏)。

「検討の俎上にのぼった製品の中で、開示してくれたのがシマンテックだった」ことが決め手となった。

また、ESS採用の決め手としては、マルウェアの検知率の高さで、「未知のマルウェアからの保護を期待できる」と考えたことが決め手となった。

さらに、提案、商談の際には同社のパートナーであるリコージャパンが重要な役割を果たした。福島氏は

“各拠点からインターネットアクセスを安全に行いたい当社にとって、グローバルIPによるアクセス制限を行いたい課題にマッチするSaaS製品はシマンテックだけでした”



株式会社カクダイ
営業部 情報システム課
課長
福島 秀樹 氏



株式会社カクダイ
営業部 情報システム課
副主任
結城 亮祐 氏

「そもそも、シマンテックのソリューションを知ったのが、リコージャパンが主催するセミナーで、担当営業と立ち話をしたことがきっかけだったと振り返る。

「当社のビジネスや課題をよく理解するリコージャパンならではの対応の速さで、その場でシマンテックの営業と引き合わせてくれました。シマンテックの営業も、こちらの技術上の疑問点に対してその場で社内SEに確認し回答してくれ、リコージャパンとシマンテック連携の最適提案とサポートは安心してお任せできると感じました」(福島氏)。

WSSとESSの導入は、2018年2月末に実施された。ITシステムの導入、運用を担当する結城氏は「試験的に数拠点をテストし、その後、全拠点を対象に一斉に導入作業を行った」と説明する。そして、導入作業は「各拠点のルーターの設定を本社側から切り替えるだけで、ほんの数分で完了した」ということだ。

「導入作業では、業務で使うアプリケーションの通信が通らないといったケースもありましたが、WSSの管理画面のログを確認し、現象の確認が容易に行えたので対応もスムーズに行えました」(福島氏)。

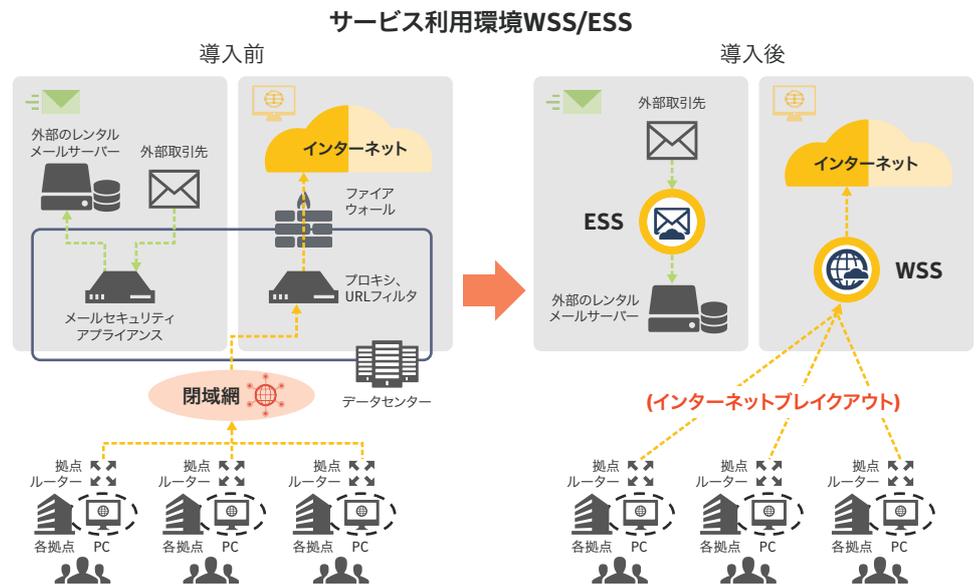
各拠点からのインターネットアクセスは劇的に改善

導入後は、インターネットアクセスのセキュリティが担保されるとともに、トラフィックの負荷が軽減された。特に、週次で行われるWindowsアップデート時にも「これまでのように、インターネットが遅くて困るという声は聞かれなくなった」と結城氏は説明する。

また、クラウド型セキュリティ製品を導入することで、データセンターに設置するセキュリティ製品などを冗長化するために高価なハードウェア機器を購入する必要がなくなり、コスト効果があったことと、定期的な製品のアップデートや、サーバーの保守、運用にリソースを割く必要がなくなった点を結城氏は挙げてくれた。

一方、ESSの導入効果として、結城氏は、マルウェアの検知率が上がることで「ゲートウェイからのマルウェアメールのすり抜けがなくなり、エンドポイントからのアラートの数も減った」と話す。

こうした点を踏まえ、福島氏は、「クラウドアプリケーションの利用拡大などによって、各拠点などから直接インターネットへアクセスするネットワーク構成を検討している企業にとって、シマンテック製品はジャストフィットする」と話してくれた。



今回ご紹介しました「WSS」と「ESS」を中小企業のお客様にも手軽にご利用いただけるようにサポートをパッケージ化した「クラウド型メール&ウェブセキュリティパック」としてリコージャパンよりご提供開始致しました。

<http://www.ricoh.co.jp/solutions/security/campaign/symantec/>

About Symantec

株式会社シマンテックは、米国シマンテック コーポレーションの日本法人です。シマンテックコーポレーション(Nasdaq:SYMC)は、サイバーセキュリティのトップ企業の一つです。民間で世界最大級の脅威インテリジェンス(GIN: Global Intelligence Network)を運用しており、多角的な脅威を迅速に発見することで、より多数の顧客を次世代の攻撃から防御します。シマンテックは、サイバーセキュリティとデータセキュリティを表裏一体の統合プラットフォームにより提供できる唯一のセキュリティベンダーで、企業の重要な情報をオンプレミス・モバイル・クラウドやIoT環境も含め、包括的に保護するソリューションを提供いたします。

各社の導入結果は異なる場合があります。詳細についてはシマンテック販売代理店にお問い合わせください。



〒107-0052 東京都港区赤坂1-11-44 赤坂インターシティ
03-4540-6226 | www.symantec.com/ja/jp